

MULTIPLEX Easy Glider* / Easy Glider Electric RR Ver. イージーグライダー* / イージーグライダーエレクトリック RR バージョン 組立て補助説明書

当説明書はキットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P11～18)が英語表記です。イラストは、P23～26、47～48です。

この度はマルチブックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ラジコン飛行機は取扱いを誤ると自分及び、他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに
最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備
えてください。



警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は安定の良い機体ですが全くの初心者単独飛行は困難です。
必ず経験者の指導のもとに機体の点検と飛行練習を受けてください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機の
チェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。特に飛行場に到着した時や激しい
着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロ
ールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取扱いにも熟知しておいてください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。
万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を手投げする時は人に向けてはいけません。人を背後にした向きで手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。
熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなり、パワーが低下します。
モーターの温度を確かめるときは火傷に注意してください。
- 7) 機体は高温になる場所に保管しないでください。変形して各部の角度が狂い、正常な飛行ができなく
なり危険です。特に夏期の車中にはご注意ください。

キット内容のチェック

各国語版の説明書 P23 の梱包品イラストに沿って欠品がないか調べます。

グライダー RR * とエレクトリック RR では部品構成が異なります。

もし欠品や破損品がある場合は、ハイテックマルチブックスジャパン迄ご連絡ください。

推奨搭載メカ等

- ・送信機: 最低 4ch の送信機。 **推奨** は 6ch 以上でエルロンディファレンシャル機能とスポイロン機能を
装備した送信機。
- ・受信機: Hitec Mini 6S 重量 15g
Hitec Electron 6 重量 17g 又はデュアルコンバージョン受信機
- ・動力用バッテリー: 7セル 1500mAh (AA) ~ 8セル 1500mAh、Ni-MH 電池
又は 2セル 1250mAh ~ 2セル 2000mAh、Li-Po 電池

機体データ

	イージーグライダー	イージーグライダー エレクトリック
・全長	1130mm	1115mm
・全幅	1800mm	1800mm
・翼面積 (FAI)	41.6 dm ²	41.6 dm ²
・重量	710 g	880 g
・翼面荷重	17 g/dm ²	21 g/dm ²
・モーター	No	Permax400
・搭載済サーボ		
エルロン	HS-81 (NanoS) × 2	重量 16.6g トルク 3Kg/cm
エレベーター、ラダー	HS-55 (TinyS) × 2	重量 8.0g トルク 1.3Kg/cm
・搭載済スピードコントローラー	X-16 (説明書は別紙です)	

接着剤

当製品の素材はELAPOR Formです。EPPに似てシンナー溶剤に溶けにくい性質ですが僅かに溶けます。ELAPOR Form同士の接着にはEPP専用接着剤を推奨します。もし入手できない時は中粘度の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。(発泡用瞬間接着剤を推奨します。) 硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐ為には接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナー等で表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

注意:瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中はゴーグルで目を保護してください。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P23~26、47~48)

・図1、2 (Abb,1、2)

グライダーRR.*とエレクトリックRR.の全体の構成パーツです。

・図3 (Abb,3)

キャノピーは図のように開けます。

・図4 (Abb,4) モーターユニットの取り外し方法

ギアやモーターをメンテナンスする為に胴体から外すには、13.1のストッパーの役目をするリテーナーパーツを下に押し下げて図のようにモーターユニットを取り外します。(ユニットは接着の必要はありません)

・図5 (Abb,5)

- ・ラダーにヒンジ用の溝(約4ミリ)をイラスト寸法位置に開けます。
- ・ラダーの舵面を良く動かして慣らしておきます。(ELAPOR素材は屈折性に優れ耐久力があります)
- ・エレベーターの舵面が動くように両端の部分を1ミリ程のスミマにカットします。(図無し)その後、良く動かして慣らします。

・図6 (Abb,6)

水平尾翼と垂直尾翼を胴体に正確に接着します。また、この時にラダーヒンジもラダーに接着します。接着する際に胴体にカンザシを入れると水平が確認し易くなります。ここでの接着作業は機体のクセの原因になりますので慎重に確認して作業してください。
(注意:ヒンジの可動部に接着剤が流れ込まないように注意してください。)

・**図7、8** (Abb,7、8)

エレベーターホーンとラダーホーンにピアノ線のロッドを通します。

それぞれのサーボのニュートラル位置をプロポで出した後にピアノ線とインナーパイプを瞬間接着剤で固定します。

(注意:決してアウターパイプとインナーパイプは接着しないでください。動かなくなります!)

・**図無し** エルロンの加工

左右のエルロンの舵面をカットします。エルロンの両端をカッターで1ミリ程のスキマを開けるようにカットしてください。その後、舵がやわらかく動作するように数回動かして慣らしてください。ELAPORは柔軟性と耐久性がありますので疲労の心配はありません。

・**図9** (Abb,9) **主翼の取り付け**

図のようにカンザシを通して主翼を胴体に差し込みます。

主翼の接合部分は抜け防止の為にS字状の噛み合わせになっています。

現状では、ここがきつくて胴体内で動合できません。様子を見ながら適度にカットしてください。左右の主翼がズレ無く取り付けである事を確認してください。

(注:主翼は胴体に接着する必要はありません。)

・**図10** (Abb,10)

日本で未発売のマジックミキサーのイラストです。

これは2CH送信機で左右エルロンとラダーサーボに信号を分配するユニットです。

・**図11、15** (Abb,11、15)

各メカの搭載状況のイラストです。エレクトリックRR.の場合は受信機のアンテナ線にバッテリーのワイヤーを近づけないように注意してください。誤動作の原因になります。

・**図12** (Abb,12)

エレクトリックRR.のバッテリーの搭載位置です。

(注意:飛行中にバッテリーが動いてしまうと重心が狂うので動かない事を確認してください。)

・**図13** (Abb,13)

キャノピーラッチが固い場合は図のように先端を少しカットします。

・**図14** (Abb,14) **プロペラの取り付け**

モーターが停止した時にプロペラが軽く折りたたまれるように確認しながら取り付けます。

(注意:ネジが抜けないようにネジロックを使用してください。)

・**図16** (Abb,16)

グライダーRR.*で受信機のバッテリーがキャノピーに当たる場合は図の部分のカットします。

・**図17** (Abb,17) **手引き曳航索の処理**

グライダーRR.*には手引き用の曳航索セットが同梱されています。

機体のフックにかける部分の加工は図のようにしてください。

・**図18** (Abb,18) **エアロトローイングのヒント**

グライダーRR.*を曳航機で引く場合、通常はサーボによる脱着ユニットが必要です。

しかし図のように同梱のマジックテープで結合すれば別CHを使用しなくても曳航と切り離しが可能です。マジックテープの重なり幅は8~10ミリが適当です。

曳航して上空に達したときに曳航機は降下させ、グライダーは機首を上げるように操作するとマジックテープは離れ、離脱することが可能です、十分に上空で練習してください。

・**図19、20、21** (Abb,19、20、21)

6chエルロンディファレンシャル(差動)機能付きの送信機をお使いの方は図のような角度にロッドとサーボホーンを合わせます。

・**図22** (Abb, 22)

4chでエルロンディファレンシャル(差動)機能が無い送信機をお使いの方は図のような角度にロッドとサーボホーンを合わせて機械的に差動を持たせます。

・**図23** (Abb,23) **各舵の動作角度の設定**

各舵面は後縁で図のように動作するように送信機で設定します。送信機に舵角の調整機能が無い場合はサーボホーンと各舵のホーンのロッド取り付け位置で調整します。

- ・エレベーターは上下それぞれ13ミリ
- ・ラダーは左右それぞれ25ミリ
- ・エルロンは上20ミリ、下8ミリに差動をつけます。(送信機のディファレンシャル機能使用) 差動が少ないとエルロンの操作時に機首が逆に向いてしまいます。

送信機にエルロンを同時に上に跳ね上げるスポイロン機能が装備されている場合は設定すると良いでしょう。着陸アプローチが楽になります。

・**図24** (Abb,24) **重心位置の確認**

重心位置にくるようにメカやバッテリーの移動を行ないます。
重心位置は主翼の前縁から70ミリです。印を主翼につけてください。

・**P-48** **補修用のパーツ表です。**

同梱のプロモーションCDについて。

このCDは英語・独語版のWindowsXP用ですので、日本語版のPCでの動作はサポート対象外とさせていただきます。予めご了承ください。

内容

- ・各国版の説明書(PDFファイル)
- ・RRキットの組立て説明ビデオ
- ・フライトシミュレーター インストーラー
- ・シミュレーターインターフェイスクーブルの紹介
- ・MPXの各機体の紹介

*2006年4月現在、グライダーRR. は日本未発売です。

株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン <http://www.hitecrd.co.jp>
〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507
03-5767-6300 / 050-5519-4989 support@hitecrd.co.jp

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。